



2024年1月15日

第701号

1部10円(組合員は組合費に含む)  
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

## 2024 新年のあいさつ 団結と連帯で未来を創造しよう



大阪府警前の元旦行動(2024.1.1)

昨年、皆さんのご理解とご協力で、念願のピースボートで世界一周をすることができました。世界各地の人々は、それぞれ独自の環境と歴史と文化の上に日々の営みを送っています。一方で人々は、民

族対立や戦争、気候危機や世紀的な物価高など、様々な困難に直面しています。国境を超えた相互理解と国際協調、人々の団結と連帯で未来を創造していくことに希望をもちたいと強く感じました。

### 世界の危機と日本の混迷

ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル軍のパレスチナ・ジェノサイドなどに対して、圧倒的な国際社会は一刻も早い停戦を望みながらも犠牲者の数は増えるばかりです。しかし政府は、安全保障という名の軍事同盟強化を目指して、「台湾有事」を煽って琉球弧を軍事拠点化し、敵基地攻撃能力を正当化し、軍事予算を

増大させています。『イスラエル軍 元兵士が語る非戦論』(2023年 集英社新書)でダニー・ネフセタイさんは、「武力による平和」がウソであることを経験的に証明されています。「日の丸・君が代」強制をテコにモノ言う教職員を黙らせて国家主義を推進し、子どもたちから自分で考え判断する力を奪い、偏狭な「愛国心」を植えつけて戦争に動員しようとする教育政策に、私たちは対峙していかなければいけません。

### 粘り強いたかいと組合員の連帯を

会計年度任用職員の雇用継続と賃金改善に向けて、大き

な転機を迎えています。2021年度からの大阪府の講師雇用継続拒否、外国語指導助手(ALT・NET)の賃金改善・一時金増額の課題などです。非正規公務労働者を無権利状態に置き、賃上げや雇用継続など労働者として当然の要求をも放置する現状に対して、私たちは次なる手段も考えていかなくてはいけません。非正規労働者も正規労働者も、民間・私学の労働者も公務労働者も組織する私たち合同組合の強みを活かしつつ、今年も組合員の団結と連帯を強めてがんばっていきましょう！

**増田俊道(執行委員長)**

## 花園中高事件

## 研究から教室、そして法廷へ

2022年11月、組合は学校法人花園学園(以下、花園中高)に勤める常勤講師たちへの未払い賃金やハラスメント行為防止を求めて団体交渉を開始しました。団交において解決が図られた事案もありましたが、組合員2名が現在雇止め通知を受け労働審判で撤回などを争っています。教員不足が問題とされる現状は私学においても同様であるなか、有期雇用という使い捨てが横行しています。組合員の訴えを以下に掲載します。

\*\*\*\*\*

2019年11月、当院で研究をしていた私は、校長と副校長から「大学院での博士課程と海外での研究経験を活か

して、ぜひ当校の教師になってほしい。あなたの経験なら特別免許を取得できる」と、大学院の就職フォーラムで勧誘を受けました。その後、私は研究者を諦め、2020年4月から花園中高で理科と総合学習の常勤講師として働き始めました。入職前に私は教員免許を持っていませんでしたが、私の研究経験が評価され、それを教職に活かせることに非常に喜びを感じ、新たな教育者としてのキャリアをスタートさせました。最初の2年間は忙しい時期でしたが、上司に恵まれ、教育者としてのやりがいを感じながら仕事をしていました。しかし、勧誘時に約束した特別免許が取得できないと判明し、臨時免許で

教える事になりました。さらに、3年目からは学校がサポートし、推薦するという形で、東京にある大学の通信教育学部で普通免許を自己負担で取得することになりましたが、学校からは十分なサポートはありませんでした。最も忙しい時期には、5つの科目的授業準備、生徒会の仕事の他に、週末に東京へ通い、大学の授業を受け、日曜日の終電で京都に戻り、月曜日からの業務に備えました。これらの多忙なスケジュールに加えて、大学の単位取得が原因となり、上司からのパワハラにも遭い、体力的にも精神的にも限界に達し、2022年11月から休職を余儀なくされました。その後、2023年4月からは休職を理由

に雇い止めに遭い、現在に至っています。

休職後、組合加入し花園中高に「大学の費用」や「2024年3月までの雇用契約」を求め団体交渉を複数回行いました。最終的に団体交渉は決裂してしまいましたが、上司から受けたパワハラの内部調査等を要求する事が出来ました。また、現在訴訟中である花園中高に対する地位確認訴訟の労働審判において、団体交渉の記録が重要な証拠になり、改めて組合活動、団体交渉の重要さを再認識しました。この1年の間、恐らく私ひとりではここまで出来なかつたでしょう。引き続きのご支援の程よろしくお願ひいたします。

(組合員)

# 尼崎ALT人勧実施を公平委員会へ措置要求

組合ニュース700号で既報のとおり、尼崎市で働く外国语指導助手（ALT）たちが2023年12月14日、尼崎市公平委員会へ他の職員と同様に人事院勧告通りに賃金・一時金を引き上げることなどの措置要求を行いました。

現在、尼崎市では直接雇用である14名のALTと民間派遣会社からの9名の派遣ALTが働いています。組合は昨年末、賃金・一時金団交を行い、少なくとも人事院勧告どおりの賃上げを要求しましたが、尼崎市は2020年度以来の



ゼロ回答を続けました。

そもそも、ALTたちは2004年に賃金がカットされて以降、1992年水準までに引き下げられました。また会計年度任用職員へと地位変更されてからは一切賃上げがない状態です。現在のように物価高が進むなか実質賃下げ状態で

あるにもかかわらず、ALTの賃金が比較的高額だという理由に終始し賃金が据え置かれることに対して、14名のALTのうち11名が人勧実施の共同措置要求を行いました。措置要求の代表者は尼崎支部代表です。

えました。

団交時に当局は労働基本権制約の代償措置として、人勧を尊重と回答します。組合はその人勧が尊重されないのならば、労働基本権であるストライキもやむを得ないのでと考えましたが、人事委員会

(公平委員会)が代償措置として機能するのかどうかを確かめるためにも今回の措置要求に踏み切りました。おそらく、このような形の共同措置要求は全国でも初のことになります。今後の結果にぜひ、注目してください。

酒井さとえ（書記長）

## 文化おちこち (263) 8333h.

### 近鉄電車で出会った人たち (4)

大阪上本町駅19時9分発奈良行き準急電車に乗った。結構混み合っていて、わたしは2両目の優先座席の前に立った。隣はとても背の高い男で2本の吊革に左右の手首を突っ込み、片手には缶ビールを持っていた。電車の振動に合わせてゆらゆらと体が揺れ、すでにアルコールが十分回っていてご機嫌だった。時々右手に握った缶ビールを口に運んでいたが、ぬるくなっているようで缶の表面にはずいぶん水滴がついている。わたしはふと男の前に座っている初老の男性のズボンに目をやった。膝頭のあたりが濡れている。薄いグレーのズボンに缶ビールからポタポタと水滴が落ちているのである。初老の男性は缶ビール男の顔を静かにじっと見上げている。しかし男は目をつぶって別世界に入り、見られていることに気づかない。何滴もの零がズボンにシミを作り、とうとう初老の男性は動いた。鞄からきれいにたたんだハンカチを取り出し、「良かったら、どうぞ。」と言って缶ビール男に渡したのだ。この行動がわたしには意外

だった。ハンカチは自分のズボンを拭くために出したと思われたし、「良かったら、どうぞ」ではなく「おい、こら。何してくれるんや」と声が発せられると予想したのにまったく違った。居眠りをしていた缶ビール男は目を開け、「これはどうもすみません。ありがとうございます。」と言ってハンカチを受け取り、水滴のたくさんついている缶ビールを見て、丁寧に拭いて返した。でもズボンを濡らしていることには気づかない。ハンカチを返された男性はズボンのシミを拭くこともなく、まもなく河内小阪駅で降りていった。

空いた座席に缶ビール男は座らないので、わたしが座った。もう水滴は落ちてきそうにない。空になった缶を右手に持ち、左手で吊革を握ってウトウトしながら立っていたが、電車が東花園駅に到着する頃わたしは男を見上げて驚いた。男の左手には固定部分から切れた吊革が握られていた。呆然として、恥ずかしいような困った表情をした男とわたしは目があった。わたしは急いで下を向いて声を出さないように耐えたが、肩を震わせながら心の中で「テ、ン、バ、ツ」と呟いてしまった。

好よし

## 大阪市教職員の時差勤務・講師内定通知実施

大阪市教委は2024年2月1日より、全教職員対象に公務員の働き方改革の一環として、時差勤務制度を実施することになりました。教職員からの請求に基づき、公務運営に支障が生じる場合を除いて、始業と終業時刻を勤務時間前後1時間を限度として15分刻みで、繰り上げ、繰り下げで勤務することができます。時差勤務期間は原則1か月以上とし、給食調理員は業務の関係上対象外となります。

また、市教委は2024年度継続雇用希望の講師に対して、12月中旬から1月中旬にかけて内定通知を出すことを決定しました。これは他市への講師の流出を防ぐためや、特定教科（技、家庭、理科）の教員不足解消、特別支援希望者は人数を確定しやすくなることからの措置と思われます。従来

は3月中旬の1次内示、2次内示で採用通知を行ってきました。今回は中学校だけですが、順次次年度から小学校も検討中のこと。ただ、具体的な学校名は従来通り1次内示、2次内示で決まります。また今回内定通知が来なかつたからといって雇用がないわけではなく、従来通りの1次、2次内示で決まる方もあります。

山口昌孝（書記次長）

### 当面の日程

- 1月20日（土）14時 PLP会館4F  
許すな！憲法違反の武器輸出  
講師：杉原こうじさん
- 2月11日（日）13時  
大阪市立中央会館ホール  
とめよう！維新の大坂破壊！  
講演：西谷文和さん
- 2月23日（金）13時  
西成区民センターホール  
狭山事件の再審を実現しよう  
市民のつどい 終了後パレード



「今年こそ良い年にとの願いは元旦の能登半島地震と翌2日の羽田空港事故で潰えた▼この災害と事故は日本における地方と中央の格差・断絶をも露呈した▼本地震での安否不明者は1週間後に発表▼6時間の

全面閉鎖及び滑走路1本の1週間の閉鎖によって被災地域の住民数を凌ぐ22万人の乗客に影響▼昨年4月の宮古島沖事故の原因が未発表なのに、陸自は災害救援に事故機同型の運用を開始する。